

有利採材の実行について (付加価値生産の向上をめざして)

下呂営林署 釜谷正雄

1. はじめに

ここ数年来、木材需要の減少傾向は、年を追って進み、木材市況も長期にわたって不振をきわめ、木材関連業界は深刻な事態に直面している。

当署においても、木材需要それ自体を拡大する方策について経営改善の推進事項にかかけ、いろいろ議論や検討を進めているが、その原点ともいうべき、需要動向を的確に把握して付加価値を高める“有利採材”を実行し販売成果をあげるよう取組みを進めている。

2. 内 容

本年度取り組んでいるもの。

- (1) 末木部分を利用した出節材（門柱用材）生産。
- (2) ヒノキ、末口径24cm以上で良材は3m採材。
- (3) ヒノキ、末口径24cmと26cmで通直な良材は7m採材。
- (4) 特殊延寸の活用による有利販売。
- (5) スギ、葉枯らし材の生産。

今回の発表は、

- (1) 末木部分を利用したヒノキ出節材（門柱材）生産。
- (2) ヒノキ、コウヤマキの出節を活用した、温泉利用による門柱材等の生産についての2点にしばって実行状況を発表する。

表1は、本年度の出節材の生産計画の内訳である。

コウヤマキについては、過去2年間、生産販売の実績があり、昨年度の業務研究発表会でも部分的に発表したところであるが、その経験をふまえ、本年度新たに、ヒノキの出節材生産の可能性について調査、需要の掘り起しについて検討したところ、販売メリットでも十分な見通しが得られたのでヒノキについても、着手実行することにした。

表2は、一般用材（対象の大部分は小径木）と出節材の原木および出節柱の半製品の、それぞれの販売価格、いわゆる付加価値について比較したもので、販売メリットは確かであるといえる。

今後の販売形態として考えているのは次のとおりである。

(1)は、山元盤台付近で、原木を山元販売とする。

(2)については、原木の山元販売と併行して、最終貯木場へ原木を搬入し、温熱処理等を行い、半製品出節柱として、適切な販売を行うことにしている。

こうした取り組みから、下呂署の一署一品運動に育てあげたいと考えている。

この2つを、生産と販売の基本型としていきたいと考えている。

次に、温泉利用による出節柱半製品の制作過程を報告する。

昨年春、熊本局管内でのスギ丸太の温泉処理をヒントに行った。

下呂温泉の湯温は40度以上であるが、剥皮作業をするには、2回の煮沸状態が必要である。40度の温熱湯の利用から煮沸に要する時間は比較的短時間で済み、樹皮・サルカ・廃材等の利用燃料もわずかで、労力も少なくなる。

こうして原木を温泉に浸すことにより、剥皮作業が容易となり、木肌の損傷がなくて済むことになる。これらの作業は、貯木場業務の閑散期等を利用して進めてきたものであるが、具体的な工程を表3、により説明する。

産地から直送された、枝太の出節柱生産に適した末木原木（3mに採材されたもの）を、処理釜（ドラム缶半切り四連）に温泉400ℓを入れたところへ原木を入れ、約1時間燃焼させ、一応煮沸状態を作ったあと、一口浸漬放置し、その後、30分から40分燃焼させると、また煮沸状態にする。その状態から材を取り出し、剥皮作業を行うが、火傷等に注意し、フォークリフトを利用して取り出す。この時、寒風の当たりが強いと、樹皮と木肌との間の薄皮が取りにくいので早く処理することが必要である。

剥皮作業は、ヒノキでは15分～20分、コウヤマキでは10分～15分で終るが、特にコウヤマキは煮沸により樹皮がやわらかくなるので容易に作業が出来る。

2・3日天日に乾燥させると、艶が増し光沢も一段と輝いてくるので、その後背割りを入れ、手直しをするだけで、完成品に近い半製品が出来上る。

3. ま と め

従来、いわゆる小径多節材等は、小径木材やパルプ材として売払ってきたところであるが、58年度～59年度に、こうした多節の欠点を、利点として活用したコウヤマキの出節門柱材販売の道を開いた。

60年度は、こうした経験をふまえ、ヒノキの出節門柱材生産に拡大するとともに、さらに温泉利用による半製品の出節門柱を実験的に行い、地元の木材流通業界から、期待以上の評価を受けることができた。

61年度予定の伐区には、尾根筋等に出節材の適木があるので、生産と販売一体となった取り組

みをさらに積極的に進め、木材需容の拡大と付加価値を向上させ、有利販売による収入確保に一層の努力の積み重ねを続けたいと考えている。

表-1 出節材生産内訳

樹種	長級	径級	本数	材積	備考
ヒノキ	3 ^M	8~16 ^{CM}	1,000 ^本	30 ^{M³}	
コウヤマキ	3~4	6~18	174	7	

表-2 販売価格を一般用材と比較した結果

単位：円

樹種 (長級)	一般用材(原木)			出節材(原木)			出節材(半製品)(1)		
	/本当り	m ³ 当り	指数	/本当り	m ³ 当り	指数	/本当り	m ³ 当り	指数
ヒノキ (3m)	450	14,400	100	1,500	40,000	333	12,000	396,000	2670
コウヤマキ (3m)	400	11,000	100	2,300	60,000	575	15,000	375,000	3750

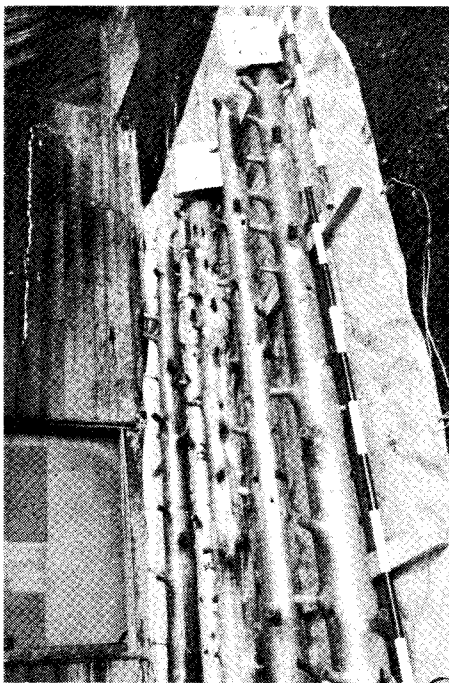


表-3 生産工程の内訳

ヒノキ・コウヤマギの選抜利用による
出節柱の生産(半製品)。

